



11月1日開催 2021年3月ダイヤ改正検証についての申し入れ

【その1】

東地申第10号

【上野車掌区】団体交渉を行う！

【行路関係】

1. 平日202行路の便1646E~545M及び平日208行路の2557Y~2558Y、休日208行路の2551Y~2554Yの食事を目的とした乗務の中断は実質45分以上とすること。

回 答:乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。

【輸送サービス労組】

- ◆ 食事時間の拡大について検討してきたことはあるか。
- ◆ 208行路についてはどうか。
- ◆ 上野の社員食堂が夜営業しなくなった。食事環境が低下している。コンビニに買いに行く時間も考慮してほしい。
- ◆ 食事環境を整えた上で、行路作成をしてほしい。個人の対策に押しつけていないか。

【会 社】

- ◆ 一般線区には食事を目的とした時間の規程はない。UT 詰所に寄る時間を考慮せず、上野に帰れば、滞在時間を増加できると考えている。
- ◆ 規程はない。新宿駅で時間を確保できるようにはしている。他の乗務員区との兼ね合いがあるので調整していく。ダイヤの設定状況によって変わるため、見ていく必要がある。
- ◆ 上野の社員食堂がやっていないのは、初めて聞いた。1分でも長くとれるように検討していく。
- ◆ 押しつけていると思う。(就寝前) 小金井に行ってから食べることもできる。ご理解いただきたい。

2. 以下の列車の品川駅及び古河駅での同電折り返し列車の折り返し時間を拡大すること。

品川駅 ①平日102行路 1150M~3153M ②平日・休日 5行路 1148M~1151M

古河駅 ①休日202行路 1624E~1597E ②平日・休日207行路 1580E~1575E(休日1571E)

③平日・休日210行路 1586E~1581E(休日1577E) ④休日212行路 1598E~1589E

⑤平日213行路 1598E~1593E

回 答:列車ダイヤの設定は、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件等を考慮して作成している。

(品川駅)

- ◆ 折り返し時間の拡大の検討はあるか。
- ◆ 列車が遅れると、短い時間の中、焦っている状態でサボ設定等を行うため負担がかかっていて、ミスを誘発する背後要因になっている。
- ◆ 折り返しでドア閉めがある。駅社員の焦りにもつながっている。
- ◆ 安全・安定輸送の観点からも折り返し時分の拡大も考えてほしい。

- ◆ 折り返し時間が拡大できるものは拡大していくが、朝通勤時間で車両運用上、拡大は難しい。
- ◆ 列車遅延は考慮していない。列車ダイヤに縛られながらも、可能な限りで拡大してきている。
- ◆ 発車に遅れが出ることは理由があれば、問われるものではない。落ち着いて作業してほしい。
- ◆ 停車時分を取ってしまえば、折り返し時分の拡大はできるが、総体でみていく。

【その2へ】



11月1日開催 2021年3月ダイヤ改正検証についての申し入れ

【その2】

東地申第10号

【上野車掌区】団体交渉を行う！

【古河駅】 【輸送サービス労組】

- ◆ 10分程度の折り返し時分があるが、拡大に向けて検討していることはあるか。
- ◆ 折り返し列車が発車するときの下りのSSが到着する。列車遅延のリスクが高いダイヤ設定よりも、折り返し時間に余裕のある設定をすれば、遅延につながらないダイヤができると思うので考慮してほしい。

【会社】

- ◆ 大宮支社との実態や状況を見ながら考えていく。
- ◆ 古河で発車する際に平面交差する。可能な限り、下りの到着を待ってから、上りが発車させることで遅れが波及しづらい考慮はしている。発車した後の運転間隔も線区総体でみている。利便性も高まり、折り返しも大きくなるのであれば、大宮と調整して実施していきたい。

3. 小金井駅における平日201行路1620E~1631E、休日201行路1620E~1625E、休日209行路1594E~1595Eの乗務間合時間を拡大すること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

- ◆ 下りから上りへの乗り継ぎ時間が短いため、乗務の間合時間の拡大を求めている。持ち替え等で拡大することは可能か。
- ◆ 下りが遅れると上りに飛びつけないと考えている。乗務の間合時間を拡大することによってリスクが減らせるのではないか。

- ◆ 持ち替え等では考えていない。車両運用が同じであれば、同電折り返しで考えている。もともとは、同電で考えていたが、車両運用が変わったため、一旦切っている。時間は足りていて、バランスが良い行路だと認識している。
- ◆ 行先地の時間が短くなる等、行路がいたんでしまうため、気にしなくてよい。

【設備】

1. 営業カバンを導入した経緯を明らかにすると共に、現状営業事故など問題が発生している事から、使用について再検討すること。

回答:引き続き、公金の確実な管理を行うために継続して使用していく。

- ◆ 導入した目的はなにか。
- ◆ 「使いづらい」という意見は支社でも把握しているのか。
- ◆ 小銭入れや札入れが全て回収された。支社としては統一しているのか。
- ◆ 見せ金をすることができない。車掌標準集に反していないか。
- ◆ 現場から意見集約して改良する可能性はあるのか。

- ◆ 公金、私金を厳格に区別するためである。
- ◆ 支社と4区所で意見交換や議論して進めてきた。マチの部分に小銭がつまるため、一度回収し、マチをうめる処置を行い改良した。
- ◆ それぞれの職場で工夫して行なってもらっている。
- ◆ 標準集に謳われていることに反している考えはない。
- ◆ 意見は聞いて進めていく。利便性を向上していく。

安全で安心して乗務することができる、より良い環境を職場からつくり出そう！